

第1回 延岡圏域共生ビジョン事前検討会（会議録）

日時 平成21年8月18日（火）14時半～16時
場所 延岡市役所本庁 3F 講堂
出席者 検討会委員26名（5名欠席）
委員構成（人数）
延岡市 15名
日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町 各2名
合計 31名
（種別）
商工・農林水産業、観光、医療・福祉、交通、情報、教育等の各団体、地域住民

1. 首藤正治延岡市長あいさつ

本日、検討会がスタートするが、定住自立圏構想に地域を挙げて取り組んで行くため、延岡市としては中心市という事で頑張らせて頂きたい。

また、「九州圏広域地方計画」も大臣決定されたため、この地域でしっかりと方向性を定めていくという重要な時期を迎えている。

定住自立圏の協定が締結された際には、皆様方に論議頂いた上で、県北全体として在るべき姿や地域の将来の姿を追い求めて行きたいと考えている。

2. 委員の委嘱及び会長、副会長の選任

会長：九州保健福祉大学 大学院保健科学研究科長 福本 安甫 氏

副会長：活道会 代表幹事 吉玉 典生 氏

3. 議 事

下記3件について、事務局から説明した。（いずれも別添資料参照）

（1）「定住自立圏構想」の概要について

（2）延岡市「中心市宣言」について

（3）想定される協定項目について

【主な質疑応答】

・検討会議の役割、ビジョン策定体制とスケジュールについて

策定体制とスケジュールが分かりにくい。共生ビジョン策定と、協定締結に向けての動きが並行して進み、協定締結が今年12月、共生ビジョンが来年3月までに完成とされている。本日の事前検討会の位置づけも分かりにくいため説明頂きたい。

【答】定住自立圏推進要綱では各市町村との協定が締結されて初めて「懇談会」という名前にすることになっており、現段階では、あくまでも事前検討会の位置付けとなる。

内容的には懇談会と全く同じである。

協定締結（12月）と懇談ビジョン（3月）のタイムラグについては、「協定」が取り組みの大枠であり、これに対し、ビジョンは、協定に基づく具体的な事業になる。その違いがあるため、期間的な差が出てくる。

時間の制約があるため、並行しながら進めて行きたい。

・定住自立圏協定の締結方法について

延岡市以外の圏域内1市5町2村がすべて延岡市と協定を結ぶと考えると良いのか。内容によっては協定を結ばないという事も有り得るのか。

【答】延岡市としては県北8市町村すべてと協定を締結したいと考えている。ただし、連携項目は市町村により異なる。

連携項目の大枠は、本市の「中心市宣言」の中で想定しており、この内容から外れるような協定は出来ないと考えている。

・日向市（入郷）圏域との関係について

・日向市も中心市宣言しており、日向入郷圏域でビジョンを策定するが、県北全体を包括する延岡圏域のビジョンと、どうすみ分けするのか、違いが分からないので関係を教えて欲しい。

・日向入郷圏域で出来ることは自分たちで協定を結び、日向入郷圏域だけでは対応出来ない部分について、延岡市を中心市とする県北9市町村圏域で協定を結ぶというような整理が出来ると理解しやすいと思う。

今後、両圏域の中心市である延岡市と日向市で協議を行い、その結果を、この検討会で何らかの形で説明することは可能か。

【答】県北地域全体で想定される取り組みは、例えば大学を活かす取組みや県立病院との連携、広域観光など、こういったものは延岡市を中心とした協定案件という事になる。

日向市も中心市なので、日向入郷圏域で、例えば医療の問題や産業振興はどうするのかといったことを検討していくものとする。

この場合のすみ分けは、中心市の延岡市と日向市で協議し調整していくことになる。

皆さんには、「こういう取組も必要ではないか」という視点で議論していただきたいと思っており、協定内容については、行政の関係課長会で検討しながら、皆さんに繋いでいかなければ、議論が難しいと思っている。この検討会が十分機能するように、関係課長会の内容については、繋いで参りたいと思っている。

また、延岡市と日向市の協議についても報告していきたい。

・消防の広域化について

消防の広域化が県などの計画で進められていると思う。こういったものが盛り込まれた方がいいのでは。

【答】広域消防の取組については、非常に厳しい状況であるという報告を受けている。この件については、消防主管課からも意見を聞きながら検討したい。

- ・ **圏域を一つのエリアとして捉えた発想で。**

- ・ 本圏域を1つの仮想化された都市、1つのエリアとして捉え、そのエリアを活性化させるにはどうしたらいいのかという発想で考えれば、いろいろな意見がでるのでは。
- ・ 県北の良い点はなんだろうか、逆に遅れている不足しているものはなんだろうかということと一緒に議論してはどうだろうか。

- ・ **医師の確保等、住民の安心安全を守る取り組みが必要。**

本圏域の医療の一番の問題点は「県立病院の医師不足」である。地域医療は延岡市だけではなく日向市等も含めた県北地域で取組んでいかなければならない。延岡市に「夜間急病センター」があるが、延岡市の医師だけでも勤務ローテが大変になってきているため、日向市とも協力して、県北地域住民の安心安全を守るという取り組みは必要になってくると思っている。

- ・ **市町村間の連携の現状が分かる資料について**

各協定項目の市町村間の連携の現状が分かる資料をいただきたい。それにより、この圏域に抜けている項目や強化すべき項目が見出せると思う。

- ・ **各市町村の特性等現状把握と整理について**

現在、国県や各市・圏域で「産業振興計画」や「総合計画」を基に事業を進めているが、そういった所に、地域の特徴や利点等も盛り込まれているはずである。そういったものがどう連携できるのかがポイントであり、それが見える形で整理できると良いと思う。

4. 総括（福本会長）

本日は1回目で、この構想自体も非常に大きく、地域の方々が安心・安全に生活していける地域づくり非常に重要な課題やテーマでもあるため、説明を聞いても一度で理解するのは多少難しい。

これが、回を重ねるたびに もっと理解出来ると思うので、二回目以降の会議に期待したい。

最終的には県北に住んでよかったと言われるような、そういう地域になっていければ良い。そのためにも、良い形でビジョン作成に繋がっていけばいいと考えているので、今後とも皆様の協力をお願いしたい。